

# IV 発展・強化計画

## 第1 サービス、活動の強化

### 課題1 サービスの質の向上

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員（事務職、専門職ともに）が身につけるべきスキル（知識、技術）が明確にされていないため、サービスの質にバラつきが生じている。</li><li>・ 組織と個人の年間目標の設定が必ずしも適切でない。</li><li>・ 業務の標準化（※）が不十分で仕事の進め方等が属人的になっている。</li></ul>
----	---

（※）業務の標準化

仕事の手順が属人化している業務を整理し、組織として最適な業務手順を決めて徹底させること。なお、個別的な福祉サービスの提供においては、職員誰もが必ず行わなくてはならない基本となる部分を共通化することであり、相補的な関係となる。

画一的なサービス実施を目的としたマニュアル化を指すものではない。

#### 改善の方向性

- （1）職員共通および専門職固有の知識と技術の明示（職員育成要綱の作成等）
- （2）職員育成計画、各職員の個人別育成計画の見直し
- （3）標準化すべき業務の明確化と標準書の作成、見直し

#### 具体的な取組み《目標：時期・回数等》

- （1）業務標準化プロジェクトチームの設置【生活支援係】《目標：令和2年度にプロジェクトチーム設置、年間5回開催》  
[プロジェクトチームの役割]
  - ・ 標準化を進めるべき業務の抽出
  - ・ 業務標準書のフォーマット作成
  - ・ 職員育成推進プロジェクトチームが検討する「必要なスキル」を反映

(2) 職員育成推進プロジェクトチームの設置【庶務・会計係】《目標：令和4年度にプロジェクトチーム設置、年間5回開催》

[プロジェクトチームの役割]

- ・ 職員に求めるスキル（専門性など）の明示
- ・ 上記職員に求めるスキルと連動した職員育成要綱、職員育成計画、各職員の個人別育成計画の見直し

(3) 事例検討会の実施【生活支援係】《目標：令和2年度は3回、次年度以降は年5回開催》

- ・ 相談職（コミュニティソーシャルワーカー、地域包括支援センター職員、介護支援専門員等）を対象に実施
- ・ スーパーバイザーを招へい
- ・ 事例検討を通じて市民の生活福祉ニーズの把握と分析（ニーズ分析会議との連携）

### [年次計画]

年度	取組み
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 業務標準化プロジェクトチームの設置（～令和3年度）</li><li>・ 事例検討会（3回）</li></ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事例検討会（5回）</li></ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事例検討会（5回）</li><li>・ 職員育成推進プロジェクトチームの設置（～令和5年度）</li></ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事例検討会（5回）</li></ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事例検討会（5回）</li></ul>

## 課題2 広報の強化

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 広報対象の多様性に対する認識と取組みが十分ではないため、必要とする情報が市民に届きにくい。</li><li>・ ホームページ、ソーシャルネットワーキングサービス（以下「SNS」という。）の活用が十分ではなく、リアルタイムな情報提供ができていない。</li><li>・ 活動している個人や団体に関する情報発信が十分ではなく、市民活動の活性化の促進が図りにくい。</li></ul>
----	---

### 改善の方向性

- (1) 電子情報の発信の取組み強化
- (2) 紙媒体による広報の充実（対象別の印刷物の発行等）
- (3) 絵、デザイン、外国語等の表現方法の改善
- (4) 外部メディア等を活用した情報発信
- (5) 市民やふくしの森サポーターへの情報発信の充実

### 具体的な取組み《目標：時期・回数等》

- (1) 「広報委員会」の役割と目的の見直し（以下の取組みを進行管理）【地域福祉推進係】《令和2年度実施》
- (2) 広報紙、ホームページ、SNSのリニューアル（ビジュアル化、多言語化、電子情報の更新ルールの確立等の検討を含む）【地域福祉推進係】《令和4年度までに実施》
- (3) はんのうふくしの森プランポータルサイト「はんのうふくしの森へようこそ！」の充実【地域福祉推進係】
- (4) ボランティアセンターに特化したパンフレット等の作成・配布【生活支援係】《令和3年度実施》
- (5) ふくしの森サポーターを対象としたSNS等による情報発信の充実【地域福祉推進係】《令和2年度実施》
- (6) 企業向け広報紙の発行（地域貢献の促進等）【地域福祉推進係】《令和4年度実施》
- (7) 情報を得ることが難しい市民に対する情報提供の強化（音声や点字の活

- 用等)【地域福祉推進係】《広報紙、ホームページ等を充実する中で実施》
- (8) 外部メディア等を通じた情報発信(飯能日高テレビ・文化新聞・ミニコミ誌・自治会広報紙、ボランティア団体広報紙等)【地域福祉推進係】
- (9) 専門知識や技術を持つ市民の掘り起こしと協力要請【地域福祉推進係】  
《目標:市民を2人以上》
- (10) 「ニーズ分析会議」と連携して情報が行き届かない市民への情報提供の方法を検討、実施【生活支援係】《令和5年度実施》

### 〔年次計画〕

年度	取組み
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報委員会の役割と目的の見直し</li> <li>・ 専門知識や技術を持つ市民の掘り起こしと協力要請</li> <li>・ ふくしの森サポーターを対象としたSNS等による情報発信</li> <li>・ 外部メディア等を通じた情報発信(試行実施)</li> </ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ、SNSのリニューアル(市民の多様性に着目した情報発信の強化)</li> <li>・ ボランティアセンターに特化したパンフレット等の作成・配布</li> <li>・ はんのうふくしの森プランポータルサイト「はんのうふくしの森へようこそ!」の充実</li> </ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報紙のリニューアル(市民の多様性に着目した情報発信の強化)</li> <li>・ ふくしの森サポーターを対象としたSNS等による情報発信の充実</li> <li>・ 企業向け広報紙の発行</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部メディア等を通じた情報発信(拡充)</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同上</li> </ul>

## 第2 働きやすい職場環境の整備

### 課題3 業務の合理化、効率化

現 状	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事務所が分散化したことで決裁や資料回覧等に時間を要している。</li><li>・ 文書および電子情報の管理方法（ファイリングシステムなど）が非効率で、また、会議や業務遂行方法の標準化、業務の電子化が十分ではないことから、業務負担を軽減することが難しい。</li><li>・ 実施している事業評価の対象が限定的で、事業活動の全体的な検証と見直しが適切にできない。</li><li>・ 特定の部署や繁忙期に業務が集中しがちで一部の職員への過度な負担増になっている。</li></ul>
--------	--

#### 改善の方向性

- (1) 事務局組織機構の見直し（グループ制の導入等、業務負担の平準化に向けた職員体制の弾力化）
- (2) 事務局長に集中している職務権限の見直し
- (3) 紙媒体による情報共有方法（回覧等）の見直し（文書管理規程の見直しなど）
- (4) 業務改善ハンドブックの見直し
- (5) 電子情報の活用拡大（対象業務の拡充等）
- (6) 事業評価の対象拡大と評価指標の見直し

#### 具体的な取組み《目標：時期・回数等》

- (1) 事務局組織機構の見直し（グループ制導入等）による業務遂行体制の弾力化【庶務・会計係】《令和2年度》
- (2) 職務権限規程の制定（事務局長権限の委譲等の仕組みづくり）【庶務・会計係】《令和2年度》
- (3) 文書管理規程の見直し（書面の回覧方法の見直し）【庶務・会計係】《令和2年度》

- (4) 業務標準化プロジェクトチームの設置【生活支援係】《令和2年度》  
【再掲】
- (5) ICT (※) 推進プロジェクトチームの設置【地域福祉推進係】《令和2年度》  
〔プロジェクトチームの役割〕
- ・ ICT化すべき業務の抽出
  - ・ 具体化と定着化の推進
- (※) ICT  
Information and Communication Technology (情報通信技術) の略で、情報・通信に関する技術の総称のこと。
- (6) 事業評価の改善 (対象事業と評価指標の見直し)【施設管理係】《令和2年度》

### 〔年次計画〕

年度	取組み
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局組織機構の在り方の検討 (グループ制導入等)、調整</li> <li>・ 職務権限規程の制定</li> <li>・ 文書管理規程の見直し</li> <li>・ 事業評価の改善 (対象事業と評価指標の見直し)</li> <li>・ 業務標準化プロジェクトチーム設置 (～令和3年度)</li> <li>・ ICT推進プロジェクトチーム設置 (～令和3年度)</li> </ul>
令和3年度	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局組織機構の改革</li> </ul>
令和5年度	
令和6年度	

## 課題4 働きやすい職場づくり

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職員の意向を把握する取組みが十分ではなく、組織活動に反映されにくい。</li><li>・ 職員の心身の健康やワークライフバランスに関する取組みの位置付けが明確ではなく、職員の理解が進みにくい。</li><li>・ 外部から評価してもらう仕組みや機会がほとんどなく、事業活動の効果を確認して次期に反映させることが難しい。</li><li>・ 仕事の進め方が属人的になりがちである。</li></ul>
----	---

### 改善の方向性

- (1) 職員の意向を定期的に把握
- (2) 職員の健康と安全の確保に関する取組み（カウンセラー等の専門家の確保、健康診断・予防接種・メンタルヘルスの実施、事故やケガの防止、ハラスメントの防止）などの検証と周知
- (3) ワークライフバランスの取組み（休暇取得の促進、短時間労働の導入、時間外労働の削減、育児休業等）の検証と周知
- (4) メンタルヘルスやハラスメント防止のための相談窓口の設置
- (5) 福利厚生事業の見直し
- (6) サービス利用者等から評価される仕組みの導入

### 具体的な取組み《目標：時期・回数等》

- (1) 事業計画説明会の開催（全職員に重点事業や職員支援等に関する取組みを周知）【地域包括支援係】《毎年4月開催》
- (2) 職員アンケート調査の実施【介護支援係】《令和3年度と令和5年度に実施》
- (3) 職員の健康と安全の確保に関する取組みの検証と定期的な周知（年1回程度）【庶務・会計係】《新規事業の実施》
- (4) ワークライフバランスの取組みの検証と定期的な周知（年1回程度）【庶務・会計係】《新規事業の実施》
- (5) 個別面談の実施（「職員の悩みや意向」に着目）【庶務・会計係】《年2回

実施》

- (6) メンタルヘルスやハラスメント防止のための相談窓口の設置【庶務・会計係】《相談窓口の設置》
- (7) 「業務標準化プロジェクトチーム」設置【再掲】【生活支援係】
- (8) 福利厚生事業に関する意向調査の実施と検証（例：福利厚生センターへの加入の是非等）【地域包括支援係】《福利厚生事業の改廃の実施》
- (9) サービス利用者等からの外部評価の導入（サービス利用者・活動協力者・関係機関等による評価のためのフォーマット作成と実施、全体的な集約と分析、次年度事業計画への反映）【介護支援係】《外部からの評価の取組み実施》

### 〔年次計画〕

年度	取組み
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業計画説明会の実施（4月）</li><li>・ 職員の健康と安全の確保に関する取組みの検証（予算編成時）</li><li>・ ワークライフバランスの取組みの検証（予算編成時）</li><li>・ 個別面接の実施（5月、11月）</li></ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業計画説明会の実施（4月）</li><li>・ 職員の健康と安全の確保に関する取組みの検証（予算編成時）</li><li>・ ワークライフバランスの取組みの検証（予算編成時）</li><li>・ 個別面接の実施（5月、11月）</li><li>・ メンタルヘルス、ハラスメント防止のための相談窓口設置の検討</li><li>・ 職員アンケート調査（福利厚生事業の意向把握を含む）</li></ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業計画説明会の実施（4月）</li><li>・ 職員の健康と安全の確保に関する取組みの検証（予算編成時）</li><li>・ ワークライフバランスの取組みの検証（予算編成時）</li><li>・ 個別面接の実施（5月、11月）</li><li>・ メンタルヘルス、ハラスメント防止のための相談窓口の設置</li><li>・ 福利厚生事業の再編</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス利用者等からの外部評価の導入（特定の事業において試行的に実施）</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画説明会の実施（4月）</li> <li>職員の健康と安全の確保に関する取組みの検証（予算編成時）</li> <li>ワークライフバランスの取組みの検証（予算編成時）</li> <li>個別面接の実施（5月、11月）</li> <li>職員アンケート調査</li> <li>サービス利用者等からの外部評価の実施（対象事業の拡大）</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>同上（職員アンケート調査を除く）</li> </ul>



### 第3 組織基盤の強化

#### 課題5 生活福祉ニーズの把握・分析と新たな取組みづくり

現 状	コミュニティソーシャルワーカーが受ける相談件数は増加しつつあるが、その個別ニーズや地域の生活福祉ニーズを主体的に把握する仕組み（情報の受発信を含め）は十分ではないため、新たな取組みづくりに反映しにくい。
--------	---

#### 改善の方向性

- (1) コミュニティソーシャルワーカーや地域包括支援センター等において対応している相談事例の検討による市民の生活福祉ニーズの把握と分析の実施
- (2) 分析した結果に基づいた事業の見直しや新たな取組み（社会資源の開発等）の検討

#### 具体的な取組み《目標：時期・回数等》

ニーズ分析会議を設置【生活支援係】《令和5年度》

[会議の役割]

- ・ 市民から寄せられた相談内容の集約と分析
- ・ 分析結果に基づく事業の見直しや新たな取組みの検討と開発《新たな取組みを2事業開発》
- ・ 財務強化プロジェクトチームと連携（情報共有）
- ・ 事例検討会との連携（事例から見えるニーズの共有）

〔年次計画〕

年度	取組み
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ニーズ分析会議を設置</li><li>・ 新たな取組みの開発</li></ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 同上</li></ul>

## 課題6 社会福祉法人組織としての体制整備

現状	行政の仕組みをベースに構築している体制や諸ルール（就業規則等）が社会福祉法人に適したものかどうかについて検証を十分に行えていない。
----	---

### 改善の方向性

- (1) 体制の民営化に関する方向性の明確化
- (2) 現行の各種法令と本会の諸規程等の精査と必要な改正

### 具体的な取組み《目標：時期・回数等》

- (1) 会長職のあり方に関する方向性の明確化【庶務・会計係】《令和2年度》
- (2) 労働法規を中心に現行法令を確認し就業規則等を精査（必要に応じ改正）  
【庶務・会計係】《令和2年度》

### 〔年次計画〕

年度	取組み
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長職のあり方に関する検討と方向性の決定</li> <li>・ 就業規則等の精査</li> </ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業規則等の改正（必要に応じ実施）</li> </ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他の規程の検証と改正（必要に応じ実施）</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同上</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同上</li> </ul>

## 課題7 財務の強化

現 状	公費によらない財源のあり方についての検討が十分でないため、新規事業実施の見通しや方針を明確にできない。
--------	---

### 改善の方向性

現在の福祉制度等では支援が難しい福祉ニーズを充足する新たな取組みの財源確保（「ニーズ分析会議」との連携、先進地域の社協の取組みの研究等）

### 具体的な取組み《目標：時期・回数等》

財務強化プロジェクトチームの設置【地域福祉推進係】《令和5年度》

[プロジェクトチームの役割]

- ・ ニーズ分析会議と連携して地域の福祉ニーズを充足する新たな取組みの検討
- ・ その財源確保策の検討《予算への反映》
- ・ 財源確保における先進社協等の取組みの分析《5か所程度を分析》

### [年次計画]

年度	取組み
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務強化プロジェクトチーム設置（～令和6年度）</li> <li>・ 財源確保における先進社協等の取組みの情報収集と分析</li> <li>・ 新たな取組みへの財源確保</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな取組みへの財源確保</li> </ul>

## V 計画の推進方策、進捗管理

現状	計画的に事業を実施する仕組みやマネジメント、あるいは職員への周知や合意形成が不十分なため、計画的に取組みを進めることが難しい。
----	---

### 改善の方向性

- (1) 単年度事業計画への反映や担当体制の明確化等の実施体制の整備
- (2) 進捗管理の徹底
- (3) 全職員への周知と合意形成の強化
- (4) 本計画および単年度事業計画の市民への公表

以下の取組みにより計画の推進と進捗管理を行う。

1. 単年度事業計画・予算への反映、担当体制（責任者、担当者）の明確化、年間スケジュールの作成【庶務・会計係】
2. 四半期ごとの進捗管理（主査以上会議での共有や、コンサルティング業者との協議）【庶務・会計係】
3. 「次年度方針決定会議」の設置（予算および事業計画の策定に先立って開催）【庶務・会計係】  
〔会議の役割〕
  - ・ 施策動向、財政見通し、ニーズ分析会議の結果等の全体的な情報集約とその分析
  - ・ 次年度の重点的な事業方針や重点事業等の決定
4. 「事業計画説明会」の実施（毎年4月に全職員を対象に開催）【地域包括支援係】  
〔会議の役割〕
  - ・ 毎年度の重点事業や働きやすい職場づくりに向けた取組みなどの周知（常勤職員・非常勤職員を問わず全員を対象に実施）
5. 本計画（進捗状況を含む）および単年度事業計画を市民に公表（ホームページ、広報紙等）【地域福祉推進係】

## 【年間スケジュール】

月	取組み
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画と本計画の公表（ホームページ、広報紙）</li> <li>・ 事業計画説明会</li> <li>・ 各業務の担当体制の決定</li> <li>・ 業務ごとの年間スケジュールの作成</li> </ul>
5月	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画の進捗状況、事業報告の公表（ホームページ、広報紙）</li> <li>・ 事業計画の進捗状況の管理（第1四半期）</li> </ul>
7月	
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画の進捗状況の管理（第2四半期）</li> </ul>
10月	
11月	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度方針決定会議</li> <li>・ 事業計画の進捗状況の管理（第3四半期）</li> </ul>
1月	
2月	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画の進捗状況の管理（第4四半期）</li> </ul>

年次計画一覧

カテゴリー	課題	年次計画					
		令和2年度	令和3年度	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	
第1 サービス、 活動の強化	課題1 サービスの質の向上	業務標準化プロジェクトチーム設置	同左				
		事例検討会(3回)	同左	同左	同左	同左	
				職員育成推進プロジェクトチーム設置	同左		
	第2 広報の強化	広報委員会の役割と目的の見直し					
		専門知識や技術を持つ市民の掘り起こしと協力要請					
		ふくしの森サポーターを対象としたSNS等による情報発信			ふくしの森サポーターを対象としたSNS等による情報発信の充実		
		外部メディア等を通じた情報発信(試行実施)					
			ホームページ、SNSのリニューアル(市民の多様性に着目した情報発信の強化)				
			ボランティアセンターに特化したパンフレット等の作成・配布				
			はんのうふくしの森プランポータルサイト「はんのうふくしの森へようこそ!」の充実				
					広報誌のリニューアル(市民の多様性に着目した情報発信の強化)		
					企業向け広報紙の発行		
						外部メディア等を通じた情報発信(拡充)	同左

カテゴリー	課題	年次計画				
		令和2年度	令和3年度	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)
働きやすい職場環境の整備	第3 業務の合理化、効率化	事務局組織機構の在り方の検討（グループ制導入など）、調整		事務局組織機構の改革		
		職務権限規程の制定				
		文書管理規程の見直し				
		事業評価の改善（対象事業と評価指標の見直し）				
		業務標準化プロジェクトチーム【再掲】	同左			
		ICT推進プロジェクトチーム	同左			
	第4 働きやすい職場づくり	事業計画説明会の実施（4月）	同左	同左	同左	同左
		職員の健康と安全の確保に関する取組みの検証（予算編成時）	同左	同左	同左	同左
		ワークライフバランスの取組みの検証（予算編成時）	同左	同左	同左	同左
		個別面接の実施（5月、11月）	同左	同左	同左	同左
			メンタルヘルス、ハラスメント防止のための相談窓口の設置の検討	メンタルヘルス、ハラスメント防止のための相談窓口の設置		
			職員アンケート調査（福利厚生事業の意向把握を含む）		同左	
				福利厚生事業の再編		
				サービス利用者等からの外部評価の導入（特定の事業において試行的に実施）	同左	同左

カテゴリー	課題	年次計画					
		令和2年度	令和3年度	令和4(2022)	令和5(2023)	令和6(2024)	
組織 基盤 の 強 化	第5 生活福祉ニーズの把握・分析と新たな取組みづくり				ニーズ分析会議設置	同左	
					新たな取組みの開発	同左	
	第6 社会福祉法人組織としての体制整備	会長職のあり方に関する検討と方向性の決定					
		就業規則等の精査	就業規則等の改正（必要に応じ実施）				
				その他の規程の検証と改正（必要に応じ実施）	同左	同左	
	第7 財務の強化				財務強化プロジェクトチーム設置	同左	
					財源確保における先進社協等の取組みの情報収集と分析		
					新たな取組みへの財源確保	同左	

【新規プロジェクトチーム】  
担当の係を明確に定め、メンバーは係にとらわれずテーマに応じて横断的な職員で構成

- ・業務標準化プロジェクトチーム（生活支援係）
- ・ICT推進プロジェクトチーム（地域福祉推進係）
- ・職員育成推進プロジェクトチーム（庶務・会計係）
- ・財務強化プロジェクトチーム（地域福祉推進係）

【設置期間：令和2年度～3年度】

【設置期間：令和2年度～3年度】

【設置期間：令和4年度～5年度】

【設置期間：令和5年度～6年度】